

## 災害の教訓を地図で伝える －地図記号「自然災害伝承碑」を地理院地図で公開－

国土地理院では、「自然災害伝承碑※」の情報を、ウェブ地図「地理院地図」で6月19日から公開を始めました。本取組を通じて、地域住民の方に地域ごとに発生しやすい自然災害を現実のものとして感じていただき「災害への『備え』」を支援してまいります。

※自然災害伝承碑：過去に起きた、津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害の情報を伝える石碑やモニュメント

- 3月15日の「地図で確認・先人が伝える災害の教訓」でお知らせした通り、国土地理院では、2019年度から自然災害伝承碑の情報を地方公共団体と連携して、地方整備局等の協力も得つつ収集を開始し、現在約200市区町村と公開に向け準備を進めています。
- そのうち九州地方測量部管内では、12市町の39基（6月17日現在、全国では48市区町村・158基）の自然災害伝承碑の公開準備が整いましたので、これらの情報をウェブ地図「地理院地図」で6月19日から公開しました。
- 引き続き市町村に対して自然災害伝承碑の情報提供を呼びかけるとともに、地方公共団体等と連携して、自然災害伝承碑の情報を定期的に更新します。
- 本取組を通じて地域住民のみなさんに過去の教訓からお住まいの地域ごとに発生しやすい自然災害を現実のものとして感じて、災害のリスクに備えていただきたいと思いますと思っております。



自然災害伝承碑  
(鹿児島県鹿児島市城山町)



地理院地図における表示イメージ

概要	
碑名	櫻島爆発記念碑(照園)
災害名	大正噴火 (1914年1月12日)
災害種別	火山災害
建立年	1916
所在地	鹿児島市城山町1-1
伝承内容	1914(大正3)年櫻島が大爆発した。前日から崩落があったため子供と老人を避難させた。家屋倒壊やけが崩れなどで62名が死亡した。毒ガスや津波のデマが流れた。田畑は火山灰で埋まり溶岩は村を埋め海峡を塞いだ。過去と比較し変化を捉えることができれば被害軽減できるのではないが、何百年か後の噴火の時のために今回の戦況を記して永久に伝える。将来の修繕を軽減するために役立ってほしいと願う。

### 【添付資料】

- 資料1 地理院地図における「自然災害伝承碑」の表示イメージ
- 資料2 「自然災害伝承碑」の代表事例
- 資料3 「自然災害伝承碑」の活用事例

自然災害伝承碑の詳しい情報につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。

○「自然災害伝承碑」の取組

<http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

### (問い合わせ先)

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎  
国土交通省国土地理院 九州地方測量部

次長 山本 宏章 (TEL 092-411-7902)  
測量課長 小室 勝也 (TEL 092-411-7910)

国土地理院では、本年6月19日から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）を公開しました。

概要	
碑名	水害復旧記念之碑
災害名	西日本水害 (1953年)
災害種別	洪水
建立年	1959
所在地	佐賀県鳥栖市酒井東町
伝承内容	昭和28年（1953）年6月25日より4日間にわたる大豪雨のため、宝満川秋光川大木川が氾濫したことによる被害の状況を記している。また、碑には当時の水位を刻んでいる。

ID:41203-001



アイコンをクリックすると  
碑名や災害名が表示

さらに写真をクリックすると  
伝承内容や拡大写真が表示

新たに追加

※自然災害伝承碑を示すアイコン



地理院地図HP  
(自然災害伝承碑を表示)





